

トップメッセージ	NTTグループの概要	NTTグループのCSR	人と社会のコミュニケーション	人と地球のコミュニケーション	安心・安全なコミュニケーション	チームNTTのコミュニケーション	ガバナンス	GRIスタンダード対照表
地球環境に対する考え方	環境マネジメント	環境負荷の全体像	社会が低炭素化している未来へ	資源が循環している未来へ	自然と共生している未来へ			

社会からのCO₂排出削減貢献量

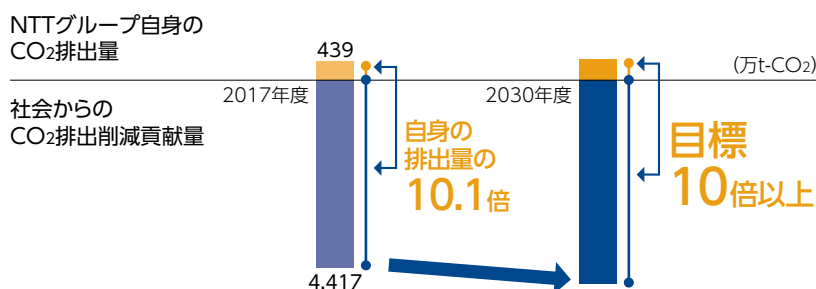
NTTグループは、2030年度の目標として、私たちのサービス・技術などを提供することで削減可能な社会からのCO₂排出量を、NTTグループ自身のCO₂排出量の10倍以上とする目標を設定しています。

これは、私たちが事業を通じて排出するCO₂排出量を抑制するとともに、サービス・技術などの提供によって社会全体からのCO₂排出削減に貢献していくための目標です。

スマートフォンや光コラボレーションによる高速・大容量のネットワークの普及によって年々拡大している情報通信の活用は、通信のためのエネルギーを必要としています。しかし一方で、情報通信の活用は、社会の効率化やデジタル化によるモノの削減などによって、通信に必要なエネルギー消費を上回る環境負荷を低減し、社会全体のCO₂排出量の削減に貢献しています。

※ 社会からのCO₂排出削減貢献量は、ICTサービス等により得られる省エネの効果をCO₂量で数値化しています。省エネ効果の数値化には、TTC（情報通信技術委員会）の標準「ICT製品・ネットワーク・サービスの環境影響評価手法（JT-L1410）」と、LCA日本フォーラムの「ICT（情報通信技術）事業の組織のLCA」研究会の算定方法を参考にしています。
 ※ ICTサービス等の導入により得られる省エネの効果としては、例えば、エネルギーマネジメントによる家庭や会社、工場などでのエネルギー消費削減、渋滞・運行情報解析による渋滞回避、交通ダイヤ効率化・最適化などによるエネルギー消費削減などがあります。

社会からのCO₂排出削減貢献量



ソリューション環境ラベル[※]

ICTによる環境貢献をお客さまにわかりやすく伝えるため、また自ら環境への取り組みを促進するために、「ソリューション環境ラベル制度」を策定し、2009年度から運用しています。

この制度は、NTTグループ各社のICTソリューションのうち、一定の環境負荷低減効果があるものを「環境にやさしいソリューション」として認定し、「ソリューション環境ラベル」を付与するものです。具体的な認定基準としては、「CO₂排出量の削減量を定量的に評価したときに、その削減率が15%を超えるもの」としています。

認定された主なソリューションは、NTT公式Webサイトの「NTTグループ環境活動」内のソリューション環境ラベルの紹介コーナーに掲載し、その評価内容を公表しています。

2017年度は新たに5件を「環境にやさしいソリューション」として認定しました。これまでの認定と合わせて、延べ67件のソリューションを認定しています（2017年度末現在）。

※ ソリューション環境ラベルは、NTTグループが制定した自己宣言型（TYPE II）の環境ラベルです。



ソリューション環境ラベル

ソリューション環境ラベル [WEB http://www.ntt.co.jp/kankyo/protect/label/index.html](http://www.ntt.co.jp/kankyo/protect/label/index.html)